

やさしい旅ヘルプ ⑤

飛行機はチケットレス、自動チェックインの時代。アナログ人間は戸惑うばかりだが、競争の激しい航空業界では必須の経営課題だ。とはいえ空港は地上職員の数が少なくなり、ちよつとしたことを尋ねるにも苦勞する。

気兼ねせず利用しよう

自分の車いすを先に機内に預けて搭乗用に乗り換えるのが基本だが、搭乗待合室で乗り換える場合もある。機内には狭い通路を移動する専用車いすもある。羽田のような大きなターミナルでは、空港内を移動するのが大変だ。そういったときは、ゴルフ場の電動カートのような車によるサービスを受けられる。もちろん無料だから、気軽に声を掛けたい。人気が定着した船旅も高齢の旅行者に親切だ。長旅では荷造りやスーツケースの持ち運びが心配だが、船旅は滞在するホテルがそのまま移動してくれるようなもの。カバンをクルーズ会社に預ければ、客室まで

空港サービス、船旅も

そんな中で親切なのは車いす利用者や障害者、子供連れをケアする専用カウンターのだ。日本航空はスマイルサポート、全日空ならスカイアシストデスク。空港管理会社の対応も良くなった。

換えられる場合もある。機内には狭い通路を移動する専用車いすもある。羽田のような大きなターミナルでは、空港内を移動するのが大変だ。そういったときは、ゴルフ場の電動カートのような車によるサービスを受けられる。もちろん無料だから、気軽に声を掛けたい。人気

運んでくれる。宅配会社を使えば港から手ぶらで帰れる。欧米ではクルーズ文化が浸透している。地中海など定番コースがたくさんあり、大型の新造船は町が動いているような感覚だ。高齢者の利用も掛かりな改装があるたびにリアフリールームが増えてき

た。高齢の車いす利用者は、旅行業界にとって長年の上得意さんのはず。そういう人に理



空港には車いすが十分用意されている